

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-43 がん検診事業		
	□支援部門		
主管課	市民健康課	関連課	保険年金課
分野名	健康福祉		
目標 (目標値)	市民のがんの早期発見、治療を図る。受診率50%を目指す。		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯	
	事業の対象者数	70,501人	70,501人	68,464人	
運営資源状況	決算値(千円)	326,790	334,127	336,505	
	(国・県)	12,814	18,230	18,481	
	(負担金等)	0	0	0	
	(一般財源)	313,976	315,897	318,024	
	人員配置数	3.4人	3.7人	3.7人	
	人件費(千円)	26,286	29,612	31,871	
	協力のパートナー	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関	
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	353,076	363,739	
	市民1人当りの経費(円)	1,985	2,052	2,079	
	対象者1人当りの経費(円)	5,008	5,159	5,381	

ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒								

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
がん検診の受診率	△	目標値	50%	50%	50%	50%	50%
		実績値	28.28%	25.00%	24.90%	24.66%	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
がん検診事業	326,790	がん検診事業	348,417	今後の方向性	B	理由・手法	がんの早期発見・早期治療によって、市民のQOLの向上や、医療費の抑制を図るために、今後も同レベルを継続する。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	受診率が微減傾向にある。										
課題解決のための取組	日曜日に医療機関で乳がんマンモグラフィ併用検診を実施したり、受診期間内に健診を受けられなかった方について期間延長を行うなど、受診率アップのための方策を展開した。					取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	日曜日の医療機関乳がんマンモグラフィ併用検診受診者数は伸びず、微減傾向に歯止めがからなかった。受診者側の意識として、複数の検診をまとめて同日に受診したいという意向が強いため、1つの検診だけ実施できる状況では受診者数は伸びなかった。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	申込み数が少ないため、レントゲン技師等の人件費を考慮すると日曜日の検診実施は厳しい旨医療機関から申し出があったことから、平成26年度は医療機関における乳がんマンモグラフィ併用検診の日曜実施は行わないこととなった。受診率向上への取り組みとして、市民向けの鎌倉市成人健診の案内に、市民検診の受け方に関する手順を詳細に説明するなどの見直しを図り、初めて健診を受ける方や健診の受け方がわからないために敬遠していた方の受診への障壁を減らす工夫をした。						➡	B	※□事業完了		

評価者名

市民健康課長

磯崎 勇次

